

- 生成AI活用に関する研修を受講した職員が、研修内容を他の職員と共有（再研修）した。
- これまで議事録やMASUDA no hito掲載記事の作成に時間を要していたが、会議録支援システム（ProVoXT）とchatGPTの併用によりその時間が短縮。業務効率化につながった。

## 課題

- 各地で生成AIの活用されているが、活用に向けては一步踏み出せなかった。
- 各種会議の議事録や MASUDA no hitoホームページへの掲載原稿の作成等に時間を要していた。

## 取組

- 3名の職員が研修を受講し、研修内容を他の職員と共有（再研修）した。
- 活用例の一つとしてchatGPTの活用した記事作成に着手
  - ・ 録音データをProVoXTで変換 → chatGPTで案を作成 → 職員が編集
- chatGPTの特性を生かした音声データ作成（インタビュー方法の改善）

## 成果

- 1記事の作成時間が約2日から2時間程度に削減。
  - 記事作成に関する負担感も軽減され、今後記事の件数増も期待される。
- chatGPTの活用については、記事作成以外にも「メール原案のアイデア抽出」「文書校正」「内部会議等の議事録作成」などの新たな業務についても活用実績があり、作業の効率化につながった。
- 市内企業のRPA（ロボティックプロセスオートメーション）導入実績を学び、業務改善の可能性について研究を行っている（苦手意識が変わった）。



職場内研修の研修

MASUDA  
no  
Hito

2025年2月25日（火） **仕事、働くひと**

### 地域に根ざす介護の挑戦

令和5年度に「新事業チャレンジサポート事業費補助金」を採択した合同会社ミツマル福祉事務所代表社員間庭達也さんに、福祉に対する思いについて教えてもらいました。合同会社ミツマル福祉事務所は、居宅介護支援事業所として令和6年4月に開業し現在、多くの利用者に寄り添った福祉を提供しています。

### chatGPTを活用しながら作成した記事

出典：[ますだのひと「地域に根ざす介護の挑戦」](#)